

科目ナンバリング		U-LAS04 10005 LJ46							
授業科目名 <英訳>	心理学 I Psychology I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 月浦 崇 人間・環境学研究科 教授 齋木 潤				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
実験系心理学の入門的講義を通じて、実験という手法により「心の働き」を理解するアプローチに関する理解を深めることを目指す。具体的には、視覚認知や注意、記憶の基礎課程に関して実験心理学、神経科学研究を概説する。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・「心の働き」を実験的に捉えるということはどういうことなのかを、実際の実験例の解説を通して理解する。 ・伝統的な実験心理学の方法だけでなく、神経科学的手法を通して検証する最先端の手法も紹介することで、「心の働き」の生物学的基盤についての基礎的知識を習得する。 ・「心の働き」を客観的にみる実験心理学、神経科学の研究を理解することから、自分を客観的にみるための心構えを体得する。 									
【授業計画と内容】									
<p>基本的に以下の予定に従って講義を進める。ただし教員の予定や講義の進み具合によって、講義の順番や回数は変更することがある。</p> <p>第1回 イントロダクション：授業の目的と概要</p> <p>第2回 7回(月浦) 記憶 人間の記憶に関する実験心理学研究、脳損傷事例を対象とした神経心理学研究、fMRI実験を用いた認知神経科学研究を概説する。</p> <p>第8回 13回(齋木) 視覚認知 視覚的注意、物体認識、視覚ワーキングメモリなど視覚による認知過程に関する実験心理学、認知神経科学研究を概説する。</p> <p>第14回 まとめ</p> <p>期末試験</p> <p>第15回 フィードバック(フィードバック方法は別途連絡します)</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
学期末試験(80点)と毎回の授業で実施するクイズ(20点)の総合点で評価する。									
【教科書】									
配布資料はKULASISに事前にアップするので、各自準備すること。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
----- 心理学 I (2)へ続く -----									

心理学 I (2)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の前日までには授業資料をクラス上にアップロードするので、事前にダウンロードした上で内容を確認しておくこと。また、授業後には授業内容と資料を照らし合わせた上で、必要に応じて復習をしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

履修者が教室定員を大きく超えた場合は履修制限を行う。履修制限の方法については別途指示する。なお、履修登録のみをして授業には出ない等がないようにしてください。
担当教員のオフィスアワーについては、担当教員ごとに異なっているので、KULASISを参照のこと。

[主要授業科目（学部・学科名）]